

2019 Spring Global Ambassador

平賀 聖鈴奈さん 帰国後インタビュー

◆留学を決めたきっかけは何でしたか。

私は中学・高校時代に夏休みだけの語学留学でカナダのバンクーバーとアメリカのボストンへ行き、英語で会話することの楽しさに気付きました。将来は自分の英語力を活用できる職に就きたいと考え、そのために大学で長期間の留学をしてもっと自分のレベルを高めたいと思ったので、留学が必須の学部に入り、今回の留学に挑戦しました。

◆留学するにあたって、就職活動は懸念材料でしたか。

私は大学3年の前期で留学に行きましたが、その間に周りの友達がインターンに参加していたり大学が主催している就活セミナーが開かれたりしていました。そういう状況になることは留学前から予想していたのでそこまで焦りは感じませんでしたし、私は大学でラクロス部に所属しているため就活よりもむしろ部活のスケジュールを見て留学時期を決めました。

◆今回の留学先を選んだ理由を教えてください。

中学3年生の夏に参加した語学研修でカナダ・バンクーバーに行ったのですが、それが私にとって人生初の海外渡航でした。その時はベトナムから移住した10人くらいの大家族の家にホームステイしたのですが、いろいろな場所へ連れていってくれましたし、ご飯もとても美味しく本当に楽しかったことを鮮明に覚えています。夏だったこともあり気候もとても過ごしやすく、カナダという国がとても好きになりました。その後アメリカやシンガポールにも訪れましたが、カナダの気候も人柄も食事も何もかもが忘れられなくて、いつかまた行きたいとずっと思っていたので国はカナダに決めました。今回は約半年間の滞在になりますし、まだ西側には訪れたことがなかったため、いろいろな場所に行ってみたいと思い、カナダ最大の都市であるトロントを選びました。

以前留学したバンクーバーは緑が豊かな場所でしたが、トロントは自然もありますがビルが沢山建っていてTHE 都会という場所でしたね。けれど、気候の過ごしやすさはバンクーバーもトロントもあまり変わらなかったかなと思います。

◆では次は授業について、おもしろかった授業や、苦手だった授業があったら教えてください。

面白かったのは留学後半に受けた English for Effective Communication コースの授業です。1 クラス 15 名程度で毎日のようにポスターを使用した即興ミニプレゼンをするのですが、他のクラスの学生や先生達が教室をローテーションでぐるぐると回るので、1日に同じプレゼンを10回以上発表しなければなりません。私は話すのが苦手だったので、最初は原稿を用意し、グループで話すパートも

しっかり分けていたのですが、回を重ねるごとに原稿を作る意味があまりないと思うようになりました。

プレゼンテーションの後には毎回質疑応答の時間を設けるのですが、その際に出た質問を活かして「この情報はプレゼン内に入れた方がわかりやすいな」「こういう言い方の方が伝わりやすいな」と考え、プレゼンテーション内容を改善していきました。また、慣れてくると緊張もしなくなります。日本人はプレゼンの前に台本を作りがちですが、自分の言葉で聴衆に伝えることでよりプレゼンの質を高められると感じました。この授業を通してアドリブ力が非常に伸び、留学前と比べて人前で話すことに抵抗がなくなったかなと思います。

一方苦手だったのは、Academic English コースの Writing の授業です。最初は英文法を英語で学ぶこと自体ハードルが高くて、先生の言うことを理解するのに苦労しました。また、日本で教わった文法や単語の使い方が間違っていると指摘されることが多く、受験のために習った通りに文章を作ると訂正されてしまいます。日本の英語教育はここまで間違っているのかと驚きました。今までやってきたことをゼロから覚え直すような作業が続き、課題も非常に多かったのでとても大変でした。しかし、先生のやり方にだんだん慣れて沢山数をこなしていくうちに理解できるようになってきて、成績も上がりました。最終的にはクラスの模範解答として選ばれたり、「この子は文法がしっかり分かっているから、わからない人は聞くといいよ」と、授業中に先生に言ってもらえたりと、一番自分の成長を感じられた授業でもありました。

◆それは素晴らしい成長ですね！授業では課題はどれくらいでしたか。

トロントの語学学校では前半はライティング・リーディングに焦点をあてたコース、後半はスピーキングが中心のコースとなり、前半のコースのときはほぼ毎日課題が出ていました。大体ライティングを1つ書いてくるというものや、文献を読んで問題に答えるという形式の課題で、1~2時間弱くらい課題の時間に費やしていました。もっとハードなクラスもあるので、担当の先生にもよるのかなと思います。

◆授業の雰囲気はどうでしたか。

15名しかいなかったもので、クラスの仲は非常に良かったです。お互いに得意な分野は教えて助け合っていました。また、日本人は電子辞書を使いがちなのですが、授業中に電子辞書は使わないように言われます。先生は「電子辞書より私の方が詳しいから、どんどん聞いて！」と言ってくれていたもので、質問もしやすく、本当に何でも教えてくれました。

また、トロント大学では先生が頻繁に個人面談を設けてくれ、わからないところを教えてくれたり悩みを聞いてくれたりします。前半のコースの間だけでも5回くらいは面談の機会があったと思います。ライティングの課題を作成した際には先生に添削してもらい、書き直した際にもう1度見てもらうのですが、授業内では一人ひとり見ることができないため、授業前や放課後に時間をとって一人ず

つ理解度を確認してくれます。マンツーマンで分からない部分を潰していくことができますし、授業で付いていけない部分があったとしても、面談の際に相談すればもう一度説明してくれるので、本当にありがたかったです。

◆わかる範囲で結構ですので、学生さんの国籍の比率を教えてください。

Academic English コースのクラスは日本 7 : 中国 2 : 韓国 2 : トルコ 2 : 台湾 1 : エクアドル 1 でした。私は真ん中のクラスだったのですが、一番上のクラスはトロント大学への正規留学のためのクラスだったので日本人は 3 名ほどと少なかったようです。また、一番下のクラスはほとんど全員日本人でした。

3 月から日本のある大学から団体で留学に来ていたため私のクラスも半分が日本人でしたが、意識が高い学生ばかりで「日本人で群がるのはやめよう」「日本人同士でも英語で会話しよう」という風潮ができていました。私は 4 月からプログラムに参加したのですが、クラスにはその団体と私一人と他の国からの留学生しかいなかったため、日本人が多くても必然的に英語しか使わない環境となりとても良かったと思います。

私のクラスでは、クラスメイトみんな本当に仲が良く、また先生もとてもアクティブな方だったので、クラスみんなでトロントアイランドという観光地へピクニックに行ったりしました。

先生がクラスみんなの分のお昼ご飯を準備してくれ、飲み物とお菓子だけ持ち寄って集まり、ご飯の前にはみんなでバレーボールしたり、ビーチに行ったり…本当にクラスみんなでよく遊んでいましたね。韓国人のクラスメイトの 1 人が 1 月ぐらいに日本に遊びに来てくれるそうなので、同時期に留学していた日本人の学生も集まってみんなで再会をする予定です。

◆授業外で何か参加されたアクティビティはありますか。

トロントはスポーツの街なのでアイスホッケーやメジャーリーグ観戦に行きました。トロント大学が試合などのイベントを募集しているので、学校を通して応募すればみんなで連れて行ってくれるということもありましたし、自分でネットからチケットを購入することもできます。メジャーリーグは毎日のように試合が開催されていましたし、バスケットボールの試合にもよく行きました。田中将大選手や大谷翔平選手がトロントに試合で来たときは個人的にすごく嬉しかったです。日本人の留学生の間では話題になりチケット争奪戦という感じでしたが、実際に観に行ってみたら客席が本当に空いていて、少し悲しくなっていました。日本で行われるプロ野球の試合はそこまで席が空いていることはないと思うのですが、「トロントの人達って野球あまり好きじゃないのかな」と思いました。少し残念ではありましたが、チケットはめっちゃくちゃ安くて、20 ドルくらいから観ることができますし、一番後ろの安い席だとしても充分見やすい場所でした。日本人選手が来るときはみんなでチエックして、何度も観に行きましたね。

また、夜のオンタリオ湖で行われたボートクルージングにも参加しました。これも語学学校を通して

参加できるアクティビティなのですが、湖からトロントの街を一望できて本当に綺麗なんです！夕方から始まるので、夕日を観てからトロントの夜景を楽しめます。私が参加したのはプログラムが始まってすぐの4月だったのですが、夜はまだとても寒いので屋外で写真を撮るのも大変でした。クルージングは毎月開催されていて、25ドルくらいで参加することができます。

また、トロント大学の語学学校にはボランティアを運営しているスタッフがいて、その方たちが毎週金曜日のお昼休みにその週にあるボランティアを紹介してくれます。参加できる人数が限られているので、希望者が多い場合は抽選になります。学生によって授業が午前にある人と午後にある人がいるので、授業が午前にある人は放課後15時くらいからのボランティア、午後の方は朝8時くらいから行われるボランティアに参加していました。トロントは毎週土日にイベントが開催されているので、イベント運営ボランティアが数多く紹介されていました。レポートでも紹介しましたが、私はトロントマラソンのボランティアに参加し、給水所にドリンクを入れて選手に渡し、落ちたカップを回収したりしました。他にもジャズフェスティバルの受付やグッズ販売、会場誘導も行いました。ボランティアを行いつつ、イベントも楽しむことができます。プライドパレードやアジアンフェスティバルなどが行われたときは、イベント参加側として楽しみました。アジアンフェスティバルにはアジア料理の屋台が沢山出ていて、日本料理もありましたが、タピオカや小籠包などの中国・台湾料理が特に多かったかなと思います。アジアンフェスティバル以外にもインドやカリブ海の料理のフェスも開催されていました。

◆たくさんのイベントが開かれていたのですね！平賀さんは最後にインターンシップもされたとのことですが、インターンシップ先はどこで見つけたのですか。

インターンシップというよりは起業のお手伝いという感じだったのですが、語学学校が入っている建物に日本人のインターン生募集の広告が日本語で貼ってあるのを見つけ、友人と一緒にメールしてみたことがきっかけでした。韓国と台湾出身のカナダ人学生が行っていた、会社ともまだ言えないくらい設立したばかりの小さなベンチャー企業で、トロントの渋滞を解消するためのビジネスや、街中に沢山ある空きテナントを紹介する仲介業務を行っているところでした。韓国出身の方は色々な国を転々としていて、日本でも働いた経験があり日本語もとても流暢でしたし、台湾出身の方のお母さんも日本への留学経験があり、自分も将来は日本で英語の先生をしたいという夢を持つ方だったので、日本人と一緒に仕事をしたいと思いインターン生を募集していたようです。

ほぼ毎日放課後集まって、WebサイトやYouTubeに載せる会社のプロモーションビデオを作成したり、会社設立のための初期段階の仕事をお手伝いさせていただきました。

仕事のお手伝いをきっかけに、その方たちが所属しているトロント大学のゼミの教授とも仲良くなり、教授の研究のお手伝いもお願いされ、教授が行っている研究のために集計作業を行ったりもしました。他のゼミ生や教授の知り合いの方ともお話する機会がたくさんあり、学外で英語を話す機会もさらに増えたので本当にいい経験だったなと思います。

インターンシップを始めた7月ごろから、ちょうど語学学校が午前だけの授業となり午後は暇になってしまっていたので、タイミングとしてもちょうど良かったです。

◆お仕事のお手伝いをきっかけに、学部授業の学生や教授とも関わったのはラッキーでしたね！それではトロント大学の施設について教えてください。

トロント大学のカフェテリアは私も周りの友達もほとんど利用しておらず、どこにあるかすらもよくわかりません（笑）。語学学校の先生にはお勧めされていたのですが、語学学校から少し離れていましたし、それよりもっと近くにいろんな国のレストランが構内にたくさんあったので、それらをよく利用しました。図書館もありましたが、元々私自身が図書館で勉強するタイプではなく、課題などはホームステイ先で行っていたため、こちらあまり利用しませんでした。友達は Roberts Library で勉強している人が多かったと思います。カフェも併設されているので居心地抜群です。

また、プレゼンテーションのクラスの先生が世界中のどんな古い映画も揃っていると、シアタールームをお勧めしてくださり、クラスメイトみんなと一緒に見に行きました。DVDをレンタルしたらそのまま施設内の小さな映画館のような部屋で上映してもらえます。椅子も映画館のシートのように画面も大きく本格的なのに、私たちだけの貸し切りなので本当に面白かったです！誰でも無料で使える施設でしたので、お勧めですね。

映画館の料金も日本より全然安く、通常の日でも1200円くらいですし、毎週火曜日は50パーセントオフなので7ドルくらいで観ることができます。毎週火曜日は映画の日として、みんなで映画を見に行っていました。小さい映画館だと5ドルで観れるところもあります！

◆滞在先から大学までの通学はどうか。交通機関等は利用しましたか。

トロントの交通機関は頻繁に遅延したりある区間で運休になったりするので、毎日通学にかかる時間がバラバラでした。所要時間は平均してバスで約10分、地下鉄で約40分くらいだったと思います。私のホームステイ先が地下鉄の一番北の方にあつたので、少し遠かった印象でしたが、語学学校の近くのダウンタウンに住んでいる人はほとんどいなかったの、周りの友人もみんな30分~1時間くらいと、同じくらいの通学時間でした。最初のタームは午後からの授業だったのですが、次のタームからは午前授業だったので途中から朝が早く少し大変でした。

◆それでは滞在先について教えてください。ホストファミリーや他の留学生はどのような方でしたか。

私のホストファミリーは今まで何人も留学生を受け入れているシングルマザーの家庭でした。カナダの人にしてはめずらしく健康にすごく気を遣っていて、お菓子もほとんど食べませんし野菜たっぷりの食事を作ってくれました。ホストマザーは料理好きな人で、プルコギ、ギョーザ、タコスなど様々な国の料理をふるまってくれました。小学校4年生と2年生の男の子がいたのですが、おしゃべりが大好きで食事中に学校のことやトロントのイベントなどを沢山教えてくれました。

留学中のレポートでも書いたのですが、ホームステイが始まってすぐ家のリフォームのお手伝いとしてホストマザーと一緒にソファを階段でマンションの1階まで降ろすという作業がありました。子ども達もまだ小さかったので、留学生の私が来るの見計らってたのかなと思いました！（笑）建物の上の階からエレベーターを使わずに階段で大きなソファを降ろすのは本当に大変でしたが、その出来事があったからホストファミリーとたくさん話すようになったと思います。カナダの人は家具など全てパーツを購入して自宅で組み立てるのが普通で、最初から形になっているものを買わないことにとっても驚きました。そのため、ソファを降ろすときもできるところまで解体したのですが、元々本当に大きなソファだったので解体しても運ぶのは大人2人がかりでした。

長期間滞在していた留学生は私1人でしたが、7月、8月は1カ月ずつ別の留学生も滞在していました。ホストファミリーの家はマンションで部屋も多い方ではなかったのですが、「留学生は私だけしかいないんだろうな」と思っていたのですが、2人の子ども達が7、8月の夏休み中ずっとキャンプに行っていて部屋があいていたので、その期間だけもう1名のホームステイの受け入れをしていたようです。チェコ人とイタリア人の女の子が入れ替わりで来たのですが、大学の語学学校でもヨーロッパ人がいなかったのすごく新鮮で、夜はホストマザーも含め3人でずっとおしゃべりをしていました。女性の人権の話だったり、それぞれの国の医療制度の話だったり、真面目な話が多かったかなと思います。短期で滞在していた2人の留学生が本当に対照的な性格で、1人目のチェコ人の子はインドアなタイプで私よりも後に帰宅していることがないくらい、まっすぐ家に帰ってくる学生でした。ホストマザーと私とでトロントのお勧めの場所をいろいろと紹介したのですが、あまりささらなかったようでした。かと思ったら、次に来たイタリア人の女の子はめちゃくちゃアクティブで全く家にいなくて、ホストマザーと「元気な子だね〜」と感心していました（笑）夏に高校を卒業したばかりの18歳の子で、カナダ滞在中に誕生日があったのでみんなでお祝いもしました。

イタリア人の子はすごく日本料理が好きだったようなのですが、彼女の住んでいる地域には日本料理屋さんが1件しかなく料金も高いそうで、多国籍なレストランがたくさんあるトロントをととても楽しんでいました。「日本のことが本当に好きだから、絶対に将来日本に来たい！」と言ってくれていましたし、日本語も教えたりしました。

◆それは楽しそうですね！いつか日本に遊びに来てほしいですね。ではトロントの街の雰囲気はどうでしたか。また治安はどうでしたか。

ダウンタウンは賑やかですが、駅の周辺にはホームレスがたくさんいてお金やタバコをくれと声をかけられることもあるので注意が必要でした。特に深夜や早朝はそういう人しか出歩いていないので、単独行動を控えるかUberで移動した方が身のためです。

私は家が遠かったこともあり、基本的にあまり夜遅く出歩くことはありませんでした。日中は公共交通機関が整っているので、Uberもほとんど使っていません。ホームステイ先がマンションだったので、エントランスで家の中にいるホストマザーにマンションの入り口を開けてもらわないといけなか

ったため、どんなに遅くてもホストマザーが起きている時間までには帰るようにしていました。1回だけホストマザーが寝てしまって入れなかったことがあったのですが、偶然マンションの管理人さんに会うことができ、何度も会ったことがあったので入れてもらうことができました。

帰国間際は深夜まで出歩くことが少し増え、初めて深夜の時間帯にバスを利用した時はやっぱりとても怖かったです。私はホームステイ先まで友人と一緒にいたのですが、その先一人になってしまう友人は安全のためUberを使っていましたね。トロントの大きな問題の1つとして家の賃料が非常に高いことが挙げられているのですが、そのために実家暮らしの若者も多く、ホームレスも多くなってしまっています。

トロントのバスケットボールチームがNBAで優勝した時のパレードなど、大きなイベントの時は何百万人も集まってお祝いするのでとても楽しかったのですが、イベント中に拳銃発砲事件があったこともあります。

◆普段、休日はどのように過ごしていましたか。長期休暇には旅行等されましたか。

休日はトロントの観光名所を巡ったり、遊園地の遊びに行ったりしました。トロントにはおいしいご飯屋さんが沢山あるので、食事もしました。少し高いのですがオイスターがめちゃくちゃ美味しいお店があり、オイスター以外の貝の蒸し焼きも楽しめるのでとてもお勧めです！様々な貝類が入ったパスタやリゾットもあり、何でも本当に美味しいのですが、高いのでたまにしか行けませんでした。あとは、カナダといえばプーティーンです！おつまみみたいな感じで食べられているので、プーティーンのお店は深夜に特に混みます。プーティーンもめちゃくちゃ美味しいので、留学中何度も食べました。プーティーンのグレービーソースをお土産に持ち帰っている友人もいました。今でも本当に食べたくくなります。

3連休にはオタワ・モントリオールへ、1週間の夏休みにはメキシコへ旅行に行きました。先程からお話ししているトロントでのイベントも毎週のようにあるので、それに参加することもありました。メキシコは行く先全てがインスタ映え！という感じで、どこも本当にきれいでした。GAレポートで送った写真でピラミッドの頂上で撮ったものがあるのですが、太陽のピラミッドと月のピラミッドの2つがあり、太陽のピラミッドは世界で3番目に大きいそうです。英語圏以外の国へ行ったことがなかったのですが、あまりにも英語が通じずびっくりしました。中学からの友達がメキシコの大学へ通っていたので案内してもらったり通訳してもらえましたが、その子がいなときは「How Much?」すら通じず数字の言い方も違うので、お店の人に電卓を見せながらコミュニケーションをとっていました。メキシコは公共交通機関の治安が悪いので基本的にUberを利用していましたが、交通渋滞がひどく、ピラミッドに行った際も通常なら2時間かかる距離が倍以上かかってしまいました。Uberの運転手さんがベテランの方で、近道を使いながらできるだけ早く行こうとしてくれたのですが、それでも朝8時に出て昼過ぎくらいまでかかりました。トイレ休憩もとれませんでしたし、Wi-Fiもなかったためメキシコに住んでいる友人とも連絡がとれなかったのが非常に心配され、本当に大変な旅

でした。けれど綺麗なところですし物価も安いので、是非行くことをお勧めします！100円くらいで本場の美味しいタコスが食べられますし、50ペソ（=250円ほど）もあれば高級レストランで食事することもできますよ！

◆交通の便はどうでしたか。

トロントの交通機関は地下鉄もストリートカーもバスも同じ会社が運営しているため、その会社の乗り放題パスを購入すれば何でもどこまででも利用することができます。19歳以下はStudent Passが使えるのですが20歳以上は大人料金と聞き、月150ドルくらいで乗り放題パスを購入していました。ただ、後々聞いたら学生証があれば20歳以上でも学生料金で購入することができたようです。それを知ったのが帰国1カ月前くらいだったので、「早く言ってよ〜」と思いました（笑）。乗り放題パスは駅ではなく、なぜかShoppersという薬局で購入することができるので、これから留学する人は20歳以上でも学生証を使って買うことをお勧めします。

平日は朝6時から深夜1時まで動いていますが、休日は朝8時からしか動かないので少し不便です。そして、頻繁に遅延または運休します。トロントの地下鉄の増設工事が行われている関係で、ほぼ毎週末ある区間で終日運休になり代替りのバスが運行されますが、かなり混雑するためそれが原因で予定が狂うことも何度かありました。

◆渡航時にいくらぐらい持っていきましたか。その金額は十分でしたか。

現金は約300ドル持っていきました。クレジットカードには最初生活費として10万円分入っており、そこから乗り放題パスや携帯電話のSIM料金など初期費用を出していました。トロントはキャッシュレス社会ですが、チャイナタウンやコリアンタウンには逆に現金しか使えない店も多数あったため常に現金はある程度持ち歩いていました。最初は街の観光もしたかったですし、それだけあれば十分だったと思います。

◆普段は月いくらぐらい使いましたか。

親から月々5万円振り込んでもらい、旅行のお金などは貯めていたバイト代から出しました。最初に持参した現金300ドルも結構長い間なくならなかったのですが、現金が必要な時は卸さずにそこから使いました。カナダは税率が13%な上にチップも支払わなければいけないため、食事代が一番かかりました。日本での無料の質の良いサービスを知っている立場としては、「どうしてこれでチップを払わなくちゃいけないの?!」と思うことも多かったです。大体チップは10~15パーセントくらいが相場なのですが、1回チップなしを選択したら店員さんにすごく戸惑われ「なんで!?!」と聞かれたこともありました。

私は昼食を自分で用意しなければならなかったのですが、スーパーで大量にベーグルが入った袋を買ってそこから毎日1個ずつ持参することで節約していました。たまに、ホストマザーが余ったパンなどを

お昼に持たせてくれるときもありました。放課後に時間がある分、友達とお茶しに行ったり何かを食べに行ったりすることが多かったので、友達との放課後の外食にお金を使うためにもお昼はできるだけ節約を心掛けていましたね。トロント観光や旅行でもかなりお金がかかったので、留学前に貯めたバイト代も留学の中盤で底をついてしまい、最終的に親に借金をしてカナダでやれることを楽しみました。

◆平賀さんは現在3年生かと思いますが、就職活動の進行状況はどうですか。

まだインターンには参加していませんが、大学のセミナーや企業の合同説明会には足を運んでいます。自己分析・業界分析もして、準備を進めています。

大学に入る前から元々ホテル業界に興味があり、そのために国際系の学部を受験していました。今も変わらずホテルに就職できたらと思っているため、ホテル業界を中心に情報収集をしています。

◆今回の留学は、就職活動に活かそうですか。

はい。留学中、授業以外にボランティア活動やインターンシップにも参加したので、「英語を使って何をしたか」について具体的なエピソードを話すことで、就活に活かせたらなと思っています。

◆今回の留学を通して自身が成長したな、変わったなと思う面はありますか。

英語力は長く滞在していた分伸びたと思いますが、性格的な部分ではより社交的になったなと思います。人と会話する機会が本当に多かったですし、街頭インタビューなども経験してフォーマルな英語のフレーズを習得したので、知らない人に話しかけることに対して緊張しなくなりました。また、「自分がどうしたいか、どう思っているか」をはっきり伝えるようになりました。授業ではグループワークが多く、海外からの学生はみんなアイデア豊富で自分の意見をしっかり持っている人が多かったです。その中で自分もやりたい事や考えを発信していかないと存在意義が本当になくなってしまっているので、積極的に意見を言うようになりました。

◆留学を終えた今、今後の目標があったら教えてください。

今後の目標は、ホテルに就職して訪日外国人に日本をもっと好きになってもらうことです。また、何年かしたらトロントに戻ってホストファミリーやお世話になった先生方に再会したいです。

現地で会った友人はこれから先もトロントに住む予定の方や、トロント大学への入学を目指している学生だったので、この先5年くらいはトロントにいるのではないかなと思います。友人がトロントにいる間にまた会いに行けたらいいなと考えています。

◆では最後にこれから平賀さんの「後輩」となる学生へメッセージがあったらお願いします！

留学生活での一番の収穫は、英語力ではなく異文化を知って理解することだと私は思います。日本は

無宗教で1つの文化しかないけど、一歩外に出ればいろんな文化背景を持った人がいて、いろんな趣味嗜好の人たちがいます。カナダは移民の国なので、どんな人でも受け入れてくれる文化があります。毎日自分の知らない世界に触れて、毎日新しい発見がある生活はとても刺激的で、留学してよかったなと心から思いました。何が言いたいかというと、「型にはまらなくていい」ということです。大学を4年で卒業してすぐ就職しなきゃいけないルールがあるわけじゃありませんし、本当に自分がやりたいことをやった方がいいな、そういう生き方をしている人ってカッコいいなと思います。留学をすることで、自分の視野がグッと広がって、人生の選択肢がたくさん出てきます。それが留学で得られたら、間違いなく自分のQOLが上がります。みなさんも自分の知らない世界で、自分にしかできない体験を沢山してくださいね。でも愛国心は忘れずに！